

東京都退職校長会 東京都退職公務員連盟

千代田・中央支部だより

令和6年7月13日 (第26号)

発行者 鈴木 正孝
(東京都退職校長会 千代田・中央支部長)
TEL 03-3639-0460

新しい年度を迎えて 元気よく

千代田・中央支部長 鈴木 正孝



皆さんこんにちは。いよいよ令和6年度の活動が始まりました。コロナの影響で長らく出来なかった外での支部の総会、懇親会を無事に実施することができました。

都退職校長会から、会長の角田美枝子先生がおいで

くださり、本支部の活動に対しておほめの言葉をいただきました。また、その折に長年本部や支部の活動に多大な貢献のあった岩谷先生と佐藤先生に、会長から直接功労賞が送られました。さらに、私にまで喜寿のお祝いを頂くことができました。ありがとうございます。懇親会は、和やかなうちにも盛大に行われました。



さて、本支部には今年2名の新しい会員を迎えることができました。

一人は、本支部には初めての高校籍の萩原聡先生です。

現在再任用校長をしているので、なかなか支部の活動に参加できないかもしれませんが、機会を見てお話を伺おうかと思えます。

もう一人は、前泰明小の和田先生です。先生は、以前制服のことでこの支部でお話をしてくださいました。先生も入会を希望したいと思っていたようで、願ったりかなったりの入会でした。大変うれしく思います。会員が増え一層充実した活動ができることを期待しています。皆様、健康に気を付けて元気に過ごしましょう。どうぞよろしくお願ひいたします。

令和6年度 千代田・中央支部懇親会

5月25日(土) 「雪園」京橋店にて、12時より
総会に引き続いて実施しました。

- 1 はじめの言葉 岩谷榮子会員
- 2 支部長挨拶 鈴木正孝支部長
- 3 ご来賓のお話 角田美枝子会長様
- 4 乾杯 佐藤忠三会員
- 5 懇談
- 6 おわりの言葉 三田一則会員

本支部に取りまして、本当に久しぶりの懇親会でした。そこに、東京都退職校長会の会長先生



角田美枝子様がご来賓としてお越しく下さり、本支部を温かくみてくださっていることや、東京都の現状について、お話をいただきました。いただきましたご挨拶を、ここに載せさせていただきます。

東京都退職校長会 会長 角田美枝子先生

本日は、千代田・中央支部の「総会」にお招きいただき有り難うございます。

千代田・中央支部の皆様には日頃より、支部長の鈴木正孝先生を中心に、充実した支部運営がなされていることに、心から敬意を表します。また、本部の事業に多大な、ご理解とご協力をいただいております。お礼申し上げます。

今日は元気になられた岩谷先生とお会いすることができて、とても嬉しく思っています。

岩谷榮子先生には「創立70周年記念誌」の作成において、多大なお力を発揮していただきました。記念誌のデータ入力と校正は、とても大変なことだったと思います。岩谷先生のご尽力のお陰で完成した記念誌は、会員の皆さんがとても喜んでいらっしゃいます。

事務局長としてのお仕事も、大変だったことと思います。岩谷先生、本当にありがとうございました。

佐藤忠三先生には、広報部で会報作成に長い期間ご尽力くださいました。佐藤先生の座右の書は「広辞苑」でした。常に辞書を机上において何を尋ねても答えていただける、まるで生き字引のようでした。

長谷川眞弓先生には、会計部の副部長として見事な会計処理をしていただきました。部会で何か声が出ると、さっと正確無比といえる資料を作成してくださいました。

そして千代田・中央支部は、この度、支部長の鈴木先生が喜寿のお祝いを受けてられています。また岩谷榮子先生と佐藤忠三先生が功労会員として、感謝状を送られています。



千代田・中央支部は、とても層の厚い支部だと思いました。喜寿並びに功労会員の皆様、本当におめでとうございます。これからも生涯現役として一層のご活躍を祈念申し上げます。



さて、東京都退職校長会は現在2085名の会員を擁していますが、平成3年から平成11年まで、会員数は6千名を超えていました。その後、減少に転じたので今、東京都退職校長会は「会員を増強すること」と「財政の安定化」という課題に取り組んでいます。

そこでまず、60歳で「役職定年制」が導入されて、定年が引き上げられましたので、本会の「会則」を「一部改正」いたしました。役職定年を迎えた「60歳の校長先生方」に、ぜひとも本会に入会していただくための会則改正です。

次に本会は、全会員が「教育の専門家」ですので、本会が目的に掲げる「教育への寄与」活動の研究に取り組みました。「千代田・中央支部」の皆様にも「教育支援活動」のアンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。

「機会があったら 教育支援活動を行いたい。」という多数のご意見とともに、アンケート結果を東京都教育庁幹部との「教育懇談会」の場で報告したところ、高い関心を示していただきました。

また研究に際しては、日本教育公務員弘済会東京支部から研究助成金をいただきました。

そして東京都からは「いじめ対応サポーター事業」の協力要請を受けました。4月22日発行の会報に協力要請の記事が掲載されています。都庁が作成したリーフレットもお配りしました。関心のある方がいらっしゃいましたら、事務局にご連絡をお願いいたします。

財政面では「財政安定化委員会」を立ち上げています。本会の財政問題を、広い見地から検討しました。予算編成委員会でも、経費削減に取り組みました。

このように、本部は今、課題解決を目指して様々な取り組みを行っています。

昭和28年に創立されて以来、会員の皆様が熱い想いを寄せてきた「東京都退職校長会」を、将来にわたって存続・維持・発展させていくために是非、千代田・中央支部の皆様と力を合わせていきたいと心から願っております。どうぞ宜しくお願いいたします。

「千代田・中央支部」が、今後ますます発展するとともに、支部会員の皆様のご活躍とご健勝を祈念して、お祝いのご挨拶とさせていただきます。



角田美枝子会長様、
温かなお話をありがとうございました。



総会・懇親会を実施することが出来、嬉しく思っています。

本部から角田会長先生がお越しくださいました。品川支部で一緒なので、こちらの支部でお目にかかれたことは、本当に有難かったです。これからも皆さんと会う機会を大切にしていきたいです。

佐藤 忠三

子供と学校の応援者として

三田 一則

まず、私の初めてを申し述べます。

令和6年度、東京都千代田中央支部総会には角田美枝子会長をご来賓としてお迎えして、直接ご挨拶を伺い心温まる思いがしました。その上、懇親会にもご一緒させていただき、東京都退職校長会の活動について有意義な情報交換や親睦を深める貴重な機会となりました。新型コロナウイルス流行期に入会した私にとって、全てのことが初めて感動体験でした。入念な準備に当たられた鈴木正孝支部長、豊田美代子副支部長はじめ元気に参加された諸先輩、そして参加できなかった支部委員にも心細やかな気遣いを忘れない本支部の素晴らしさに、心より感謝とお礼を申し上げます。

さて、教育は未来社会への一里塚。大変重要な社会的営みです。しかし、いつの時代も困難はつきものです。新型コロナ禍後の教育現場も同様、教員不足や教室不足に悲鳴を上げる学校がある一方、いじめ・不登校の増加、からだや心の悩みに苦しむ子供の増加等々、深刻な状況を抱えています。



研修会で講話（5月） 教育アドバイザーとしてICTを活用した授業づくり研修会

混沌とした5Gの時代、未来を担う子供や学校のために、今の自分に何ができるか…。

そんな思いから、私は「子供と学校の応援者」になろうと思っています。

東に「授業改善に悩める学校」あれば行って相談にのり、西に「心痛める子供」あれば行ってよく話を聴き大丈夫だと励ます。南に「困った子供がいると叫ぶ人」あれば行って困っているのは子供だと説き、北に「次代の教育を問う若者」あれば行って共に希望を語る。微力ながらこんな生き方に情熱を燃やし、世代交替のバトンリレーを繋ぐ日々を過ごそうと決意しています。



小学校5・6年生「君はどう生きる」のお話



萩原 聡先生

この4月に杉並支部（都立西高等学校）から、本支部に仲間入りさせていただきました都立日比谷高等学校長の萩原聡です。本校は、国会議事堂が見える高台にある最も歴史のある都立高等学校で、気持ちも新たに職務に専念しています。

私は、令和4年3月に退職し、再任用校長として3年目を迎えており、現場にいる関係で、なかなか皆様と関わりが持てない状況にあります。ありがとうございます。



新しい仲間



和田 利次先生

今年度から仲間入りをさせていただきました。平成30年度に泰明小学校長で退職を迎えました。現場を離れてから6年になります。

一昨年まで、一般社団法人東京学芸大学同窓会の理事長を務めさせていただいておりました。多くの支部の集まりにも参加させていただき、学校の奮闘にエールを送っていました。退職校長会で、自分が経験してきたことを少しでも生かせればと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

ウォーキング①

勝どき～月島～佃

令和6年6月14日(金) 担当:長谷川 眞弓



大江戸線「勝どき駅 改札口集合。
朝から暑かったので、改札前の集合でよかった。

参加者は 鈴木支部長・豊田・佐藤・岩谷・三田・長谷川。新宿支部から石上先生が加わり、計7名での出発です。



改札前の地図を使い
コースを確認

中央区観光協会特派員7年のスキルを生かして、名所・グルメ・買い物を取り入れてのコースを考えました。

33°Cを超える夏日の予報でしたので、水分補給と日陰をなるべく歩く、休憩をとることを心掛けました。

勝どき駅を地上に上がると、晴海通りと清澄通りの交差点です。清澄通りを月島方面に向かって歩くと、月島川にかかっている月島橋を渡ります。この川は、遊覧船や釣り船の停泊所になっています。春には桜並木が綺麗で、花見の穴場です。



日陰を選んで歩く



①「北の幸牧野商店で美味しい鮭をゲット！」
月島は元築地市場が近かったので、品質の良い鮭が手に入り、熟成の仕方に秘密があるらしく、「牧野商店の鮭を食べたら他の鮭は食べられない」との口コミが広がって、全国に鮭を発送しています。 牧野商店のすぐ近くに

〒104-0052
中央区月島4-10-11
03-3534-0088
水・日・祝日定休
makino_shouten@ybb.ne.jp



②元月島第一小学校・幼稚園がありました。現在は、「月一園」元25mプール後を菜園にしています。都心でこのような広い畑を持っている学校は珍しく、授業・保育で栽培・収穫・食育活動をしています。月島第一公園(元校庭)

③月島社会教育会館・月島特別出張所・月島図書館(元月島第一校舎・園舎)で休憩しました。冷房・椅子・トイレがありますので、この時期の熱中症予防には最適な休憩場所です。





④西仲通りもんじゃストリート2・3番街間に入ると、
⑤西仲通地域安全センターが見えてきます。
大正10年にできた交番です。現在でも警察官OBによる見回りが、時々勤務しています。いつもは無人ですが、何と当日は駐在していて、ラッキーでした。



⑥月島観音・月島温泉は3番街を入るとすぐ旗・看板が見え、狭い路地の一番奥にあります。月島観音は、信州善行寺別院です。お参りすると「開運・病気の平癒・落とし物が見つかる」とのご利益があると言われています。



もんじゃストリートを3番街から1番街に歩くと、人気のメロンパン屋、冷凍クジラ肉販売店があります。

⑦月島幼稚園の正門が1番街入り口に見えます。元佃島小学校があった場所です。現在は月島幼稚園・区営住宅・スポーツプラザがあります。向かい側に築地本願寺佃島分院とカフェ、老人ホームがあります。ここまでが月島です。



佃大橋通りを渡ると、佃1丁目です。徳川家康が江戸開府の際、1644年大阪・佃村の漁師に佃島の埋め立てと漁業権を命じて、佃島ができてから380年の歴史があります。佃の家屋の特色は、長屋との間に、狭い路地が通っています。



⑧佃天台地藏尊は、明治初期に天台宗の浄名院由来の自然石線刻地藏菩薩が、狭い路地にあり、300年樹齢のイチョウの大木が地藏尊の中にあることで有名です。子供たちを水難から守るために作られたそうです。路地を抜けると



⑨佃波除稲荷神社に出ます。築地のある波除稲荷神社の分社です。これも佃の人たちが築地を埋め立て築地本願寺・波除稲荷神社を建立しました。佃分社には、さし石が3個あり、漁師の力自慢を競うための物でした。力石という名前の方が有名で佃はこだわりがあり、赤い字で「さし(持ち上げる)石」と銘記しています。



⑩スペインクラブは、月島1丁目の倉庫街を改装して、1994年から営業しています。お勧めはスペイン本場の味「パエリア」です。「イベリコ豚」などのランチメニューも豊富です。私のイチオシの名店で是非ご紹介したかったお店です。

⑪食後、1837天保8年創業「天安本店」180年の佃煮店を、有志にご案内しました。

〒104-0052 中央区月島1-14-7
朝日倉庫1階1
03-3533-5381
東京メトロ有楽町線、都営大江戸線
「月島駅」7番出口から徒歩2分

楽しかったとの感想を沢山いただき、嬉しく思います。ご参加ありがとうございました。

支部ウォーク月島

佐藤 忠三

先日のウォーキングに参加して、最後まで歩いたので、安心しました。長谷川先生、ありがとうございました。これからも宜しくお願いします。

月島には、これまでも何度か行っていますが、観点が違くと、全然別の場所のように思えました。月島でもんじゃ以外の食事をしたのは初めてです。支部会では、長谷川先生・三田先生・豊田先生とは私的な会話をする機会がありませんでしたが、今回、少しお話することが出来ました。楽しかったです。

支部長先生、瀬川先生が参加できなかったのが残念でした。次回はぜひ全員で参加したいですね。本当にありがとうございました。

新しい世界を見るような

鈴木 正孝

いつも病気のお話で申し訳ありません。今回はちょっと張り切りすぎて、やめればよかったのに、階段の上り下りをたくさんやりすぎてしまいました。体力づくりと思って駅の階段、勤務先の学校の階段はもとより、自宅の12階の部屋からもよく上り下りしてしまいました。

その結果、突然左足に痛みを感じてしまいました。近くの整形外科に行ったらレントゲンを見て、「脊柱管狭窄症です」という診断でした。以前から名前を聞いたことがあり、実際なった人もたくさんいました。話を聞くとそれぞれが自分の経験を得意になって(?)語ってくれました。今、痛み出して20日ぐらいたち、薬を飲み、背骨に注射を打ち、リハビリをしています。まだなかなか良くなりません。あまり無理をせずのんびり治療していこうと思っています。外出するときはできるだけ歩くことを少なくしています。

今までは、休みの日には必ず隅田川沿いの河川敷をぶらぶら散歩していました。釣をする人、ジョギングをする人、犬を連れて散歩をする人など多くの人がありました。時々手すりなどに大きな鷺のような鳥がいてびっくりすることもありました。散歩はとても気持ち良かったです。でも今は、それはできません。



外出はもっぱら自転車です。自転車があって助かっています。風を切って進むのは実に気持ちがいいです。簡単に遠くまで行けるのもいいです。乗っていると、色々なものが目にきます。特に私と同じように足が悪くて杖をつく人や、車いすに乗っている人もいます。段差や点字ブロック、交通標識も意識して見るようになりました。



私も通勤などでどうしても歩かなければならない時には、少し前かがみで歩幅を小さくしてゆっくり歩くようしています。特に信号を渡る時には気を付けていて点滅をしたときは無理に渡らないようにしています。

また、駅などではなるべくエレベータやエスカレータを使うようにしています。学校などで階段を降りるときには手すりにつかまり息を整えて一歩ずつおります。元気な子供たちの駆け降りる様子を少しうらやましく思います。

こんなふうになってとても残念ですが、何か普段目につかないあまり意識したことのない違った世界を見ているような気がします。それもいいかな、仕方がないかな、それはそれで大切に生きていきたいと思う今日この頃です。

願いを込めて

藤田 雅子

体調を崩してしまい、色々考えた結果、昨年より新潟に住まいを移し、現在は身内のところで養生を続けています。



これまで他の地区にも所属していたので特別会員でしたが、所属を千代田中央支部だけにしたので、今年度から正会員となりました。元気になって東京に行かれるようになりましたら、皆様とお目にかかり、また一緒に活動出来たらよいと願っています。

また新しく和田先生が入会なさったとうかがいました。以前に江東区でお世話になっていたので、知り合いが増えて、有難いです。



支部だよりなどを通して、皆様のご様子を知るのが嬉しいです。送っていただく便りを楽しみにしています。今年度がよい年になりますように。

半世紀前の月島西仲通りと私

瀬川 徹

6月14日の長谷川先生による月島歴史散歩、体調不良による欠席、本当に残念でした。昭和43年、月島第三小に新卒赴任以来、晴海の勤務地からよく隣接する月島西仲通りを歩いてから帰宅したものです。独身の4年間は特に。



西仲通りの交番は歴史的に有名な場所。近くには月島温泉(実は銭湯)があり、よく帰りに入浴しました。今はビルの中になってしま



いました。交番の裏には月島映画劇場があり、「男はつらいよ」第1作を見たのも良い思い出です。当時西仲通りの「もんじ

ゃ」の店は数件だけでした。私の夕食は、日替わり定食(150円~)の食堂の日々でした。本当に思い出深い月島西仲通りです。月島三小の児童たちの校外指導担当としても、よく歩きました。

お祭 大好き！

豊田 美代子



私の地元は、5月始めに祭がありました。今年大祭の年で、神輿や山車が出て、孫も初体験が出来て、久しぶりに大変盛り上がりました。

そして、6月に江戸三大祭の一つである日枝神社山王祭が行われました。氏子地域は、日本橋・八丁堀・茅場町・兜町・京橋・銀座・麴町・紀尾井町・九段・平河町・大手町・丸の内・内幸町・霞ヶ関・有楽町・永田町・新橋・四谷と、広く複数の区におよびます。

今年は異例ながら、同じ日に神幸祭が斎行されました。2度の中止を余儀なくされ、6年振りの神幸祭で、地元の熱い思いが伝わってきました。



6月7日(金)朝、永田町の日枝神社を時代絵巻の様な鳳輦・宮神輿・山車が出発し、四谷から九段を周り、皇居坂下門を通り、東京駅から銀座京橋、日本橋日枝神社、新橋、日比谷公園を巡って、夕方に永田町に戻りました。



そして、6月9日(日)は下町連合渡御です。まず午前



中にそれぞれの地域を渡御しました。私は八丁堀のすずらん通りの渡御を応援していました。

その後、昼、京橋に茅場町・八丁堀・江戸橋・日本橋・京橋・宝町の

神輿16基が集まり、中央通りを全面通行止めにして日本橋まで練って進みました。日本橋の中央でひときわ盛り上がり、それぞれの神輿を天に向かって差しました。日頃は車が行き交う橋の上に木遣りが響き、隣の町会の神田明神が高張提灯で出迎えてくれたのも日本橋ならではの光景でした。偶然に日本橋に来た人も、その迫力に圧倒されているようでした。



街のあちらこちらが新しくなっても、コロナ禍でしばらく祭が出来なくなっても、こうして6年ぶりの祭は、力を合わせる大切さと、熱気と伝統の迫力を皆に伝えてくれたと感じました。何より祭は楽しい、大好き！



2024 メキシコ・マヤ・アステカ文明を巡る旅

長谷川 眞弓

コロナで行けなかった海外旅行「春分の奇跡とマヤ遺跡メキシコ絶景紀行」に、以前からメキシコのユカタン半島にあるマヤ・アユタヤ遺跡・神殿に興味を持ち、春分の日に羽毛の生えた蛇神ククルカンの姿が浮かぶチチェンイツァ遺跡のカスティーヨを目指して、3/14に出発！

メキシコのイメージは、前アメリカ大統領トランプがメキシコからアメリカ合衆国への密輸や密入国を防ぐことを目的としたアメリカとメキシコ国境に沿った壁が印象的です。

GDP は世界14位ですが、平均年収220万円と低めで、貧困率は6割までコロナ後に上昇しています。「アメリカに出稼ぎに行くと、メキシコの16倍の賃金を稼げる」と言われています。

メキシコの大学を出て、日本人ツアーガイドの千葉さんの話によると、ホンダなど日本の自動車メーカーの工場があり、メキシコ人を多く雇用して公正な経営をしているので、日本に対する信頼度は非常に高いという話でした。

また、世界の中でも鉱物資源が豊富なメキシコですが、政府がインフラ整備、十分な資金・管理能力が無いために、石油公社(PEMEX)・ウラン開発、リチウム生産技術や技術者が不足・採算性・低品位・抽出コスト高、技術革新など、多くの課題をもっているそうです。

①メキシコのグアナファトです。一番古いスペイン人の都市で広範囲にめぐる地下トンネルとカラフルな建物が名物。「ピピラの丘」からの町の夜景が綺麗でした。



世界一採掘量の銀山はユネスコ世界遺産登録されています。

②「テオティワカン遺跡」は紀元前2世紀～6世紀まで繁栄した最大規模の宗教都市・古代遺跡です。「太陽のピラミッド」「月のピラミッド」「死者の道」「ケツァルコアトルの神殿」が有名。



③7世紀に最盛期「パカル王」のヒスイの仮面が有名な「パレンケ遺跡」は、昨年2023年

東京国立博物館で特別展「メキシコマヤ、アステカ、テオティワカン」で「赤の女王」のミイラに魅入られました。今回のツアーにパレンケが入っていたので、パカル王のミイラも見ることができました。



④中米ユカタン半島の石灰岩の陥没穴約3,500か所ある地下水が溜まった天然の井戸、泉。神秘的な水を湛えるマヤの聖地最大級の「セノーテ・イキル」は水深50～60mでライフジャケットを着て、短時間浸かりました。



⑤3月20日大イベントの春分の日、旧チチェンイツァ6世紀の遺跡「カスティーヨ」に羽毛の『春分の奇跡』を期待して16時まで待っていました。



一日曇りの天気予報で諦めかけていましたが、雲の合間に太陽の光が神殿を照らし、羽毛の生えた蛇神ククルカンの影が空から地上に降りてくる姿が浮かび上がりました。奇跡の光臨に、「自称晴れ女」の運の強さに自分でも吃驚しました。

⑥ラス・コロラダスの桃色の塩湖「ピンクラングーン」が綺麗でした。微細藻類と赤い海老のようなプランクトンの死骸が堆積して、海の色が太陽に当たると濃いピンク色に見えるカリブ海にある湾です。塩田会社の私有地にあります。ピンクと白い塩とのコントラストに魅入られました。



⑦マヤ遺跡からのコバルトブルーが美しいカリブ海を望む「トゥルム遺跡」は城塞都市「コバ遺跡」の主要な港でした。13～15世紀の最も保存の良いマヤ遺跡の一つです。



⑧2006年に開館したヴァスコンセロス図書館は「死ぬまでに一度は行ってみたい空中図書館」として世界の図書館に選ばれ、旅行前にテレビでも放映されていました。日本の絵本も展示されていて、嬉しくなりました。



何しろ空港・ホテルから遺跡までバスで2時間30分～6時間も移動するので、体力的に大変でしたが行って良かったです。

東京都退職校長会 東京都退職公務員連盟

千代田・中央支部だより

令和7年1月25日 (第27号)

発行者 鈴木 正孝
(東京都退職校長会 千代田・中央支部長)
TEL 03-3639-0460

健康に気を付けて 充実した支部会に

千代田・中央支部長 鈴木 正孝



明けましておめでとうございます。

昨年中は皆様のおかげで、充実した支部活動を行うことができました。特に新しく三人の正会員の方をお迎えすることができました。とても嬉しいことです。

入会間もない萩原先生のおかげで、日比谷高校を訪問、見学して先生の目指す学校経営の夢や課題について伺うことができました。また、支部会ではミニ講演や情報交換を通して、今までの経験や日々の活動、健康上の悩みなどを、活発に話し合えることができました。

これからも、すべての会員が生き生きと活躍できる支部会にしたいと思います。お知り合いの方がいましたらお声をかけていただき、充実した退職後の生活ができますよう働きかけていただければと思います。今年もどうぞよろしくお願いたします。



新宿支部との交流

「戸山の歴史を語り継ぐ集い」 の研修会に参加して 令和6年12月7日(土)

12月に、新宿区の戸山地区にある西光庵で行われた新宿支部の研修会に、本会会員2名が参加しました。

支部交流は、新宿支部と文京支部の3支部で、互いに実施している研修会をお知らせし合って、交流を続けています。



西光庵には、平和裏に幕末維新を推進した人物として語り継がれている尾張藩主第14代・17代徳川慶勝公墓碑があります。新宿支部の生駒先生から、徳川慶勝藩主の功績についてのお話を伺いました。



お話を伺いました。

江戸の町を戦火から救ったのは西郷隆盛と勝海舟の会談のお陰と言われていますが、新政府軍が旧幕府勢力と一線も交えることなく江戸に到達できるよう策を講じたのは名古屋城主である徳川慶勝だったことを、資料を元にお話してくださいました。

その後、徳川慶勝の公墓碑を見学しました。表面には「従一位勲二等徳川慶勝卿墓」と書かれており、この墓を作ったのは徳川家ではないことがわかります。裏面を見ると「左大臣兼議定官陸軍大将二品大勲位熾仁親王書」と書かれており、つまり有栖川宮熾仁親王によって表面が書かれたということです。これは、慶勝の維新に果たした功績への感謝の証だと考えられるということ、生駒先生は熱く語っていらっしゃいました。

見学後、有志が近くにある西向天神社の見学やゆったり、昼食を共にして交流を深めました。



学校訪問 東京都立日比谷高等学校

令和6年8月6日(火)

今年度、日比谷高等学校に着任した萩原先生が、千代田中央支部に入ってくださいだったので、この機会に支部会員6名で学校訪問をさせて頂くことにしました。



令和6年8月6日(火)、萩原先生は、説明資料を用意してくださいました。まず、自己紹介を兼ねて、経歴を紹介してくださいました。

引き続き学校の話です。日比谷高校は、明治11年に東京府第一中学として開校、明治32年に日比谷公園の隣に校舎が移転し、昭和4年現在の永田町(星ヶ丘)に校舎移転。昭和25年、都立日比谷高等学校と改称。今年146周年を迎える「歴史と伝統ある学校」です。



これからの社会で求められる力は、状況の変化に柔軟に対応したり、新しいものを作り出したり、異なる考えや立場の人をまとめたりする力です。これは暗記中心・単純作業のinputだけではなく、そこに必要な情報などを混ぜ合わせ、自分で考えてoutputする力を育てることが重要だということです。英語力や課題発見・解決能力、コミュニケーション能力など、社会の変化に対応した力の育成が大切で、大学入試も既に変わってきています。

「知の日比谷」をスローガンに、また都が各校とともに決めた「スクール・ミッション」では「21世紀を逞しく切り拓くグローバル・リーダーとして活躍する人材を育成する」と宣言しています。

教育課程では二期制で、「動の前期」には行事(体育大会・合唱祭・星陵祭)、「静の後期」で学習・進路指導を充実させています。1日45分で7時間授業、これは高校では珍しく、質



の高い授業を展開し、生徒同士の対話による深い学びを大切にしています。

探究的な学びを展開し、多様化する進路選択に対応しています。文科省のSSH(スーパーサイエンスハイスクール)指定校として18年となります。1年の理数探究基礎は必修で、2年以上は選択科目となります。東京大学や東京学芸大学と連携しています。

前期の三大行事の他に、宿泊行事としては、修学旅行が2年の3月に京都2泊3日、臨海、登山、スキーとOB・OGと連携した伝統宿泊行事が休業中にあり、臨海では、同窓会所有の寮が千葉県勝山にあり、遠泳等に取り組んでいます。

都教委のGE-NET20指定校として、希望者を募って、グローバルリーダー研修を実施して、探究的な活動を通して人材育成を図っています。様々な会社の協力を得たり、省庁での研修…今年度は経済産業省で学ぶ場を得ました。ハーバード大学で学んだ生徒も20名位いるそうです。生徒全員に対して都が費用負担をして実施しているオンライン英会話(年間10時間程度)や英語検定試験があります。また、学校の目の前にメキシコ大使館があるので、文化交流も行っています。



その他、受験に関わること、子どもと保護者の意識など様々な話をしてくださいました。そして私たちの質問にも答えてくれました。都教委指定の進学指導重点校として、以前からやっていたものをそのまま続けていく訳にはいかないもので、日々の努力と工夫が必要だと話してくださいました。特にこれからさらに必要となる英語力(読む・聞く・書く・話す)を育てるための選択が重要。様々な課題にも取り組んでいるご苦労が垣間見えました。

お忙しい中、校舎も見学させてくださり、ランチは星陵会館のレストランで楽しいひとときを過ごさせて頂きました。ありがとうございました。



背筋を伸ばして、困難を
乗り切っていくようにしていま
す。気が付くと、うつむき加減
になってしまうことがあるので、
ずっと先を見て歩いています。

鈴木 正孝

妹が色々計画してくれて、伊豆・信州
などの温泉巡りに行ったり、歌謡ショー
を観に行ったりしています。外出して楽しい
時間をもつことは、元気の素です。今、長岡
に住んでいますので、家の近くでも四季を感じ
ることが出来る場所が沢山あります。

藤田 雅子

80歳を目前にして体調を大きく崩し、
残念です。皆さんとお会いしたいです。
パーキンソン病によるふるえや視力の大きな
低下。連日病院にも行っているのですが……。
前向きに！ポジティブに！と 思っているこ
ろです。

瀬川 徹

「所変われば品変わる」のごとく
様々な公務に追われています。
師走だけに、なかなか自宅の
後片付けにも至りません。

萩原 聡

88歳になります。
現状維持して、支部
会で皆さんに会えるの
が楽しみです。

佐藤 忠三

みんなの寄せ書き
今回のテーマ
今 頑張っていること



よく通う“みはし”で、
お一人の〇年代の方を見
つけては声を掛け、あり
きたりの話をする。大抵
は快く話を合わせてくれ
る。紙細工の材料を買い
に来てはここに寄るとい
うAさん、また会いたい。
会話は楽しい。

岩谷 榮子

音楽科の研修会開催や、
合唱、オカリナの練習、個人
的な発表会など、音楽に関わ
る活動を色々やっています。
その一つ一つを大切に、そし
て少しずつでも充実させられ
るように工夫し、取り組んで
います。

豊田 美代子

中央区観光協会の検定試験は、毎年難易度が
高くなっています。合格点75点と特派員資格上
位20名をクリアーできるように、令和7年2月1
日の試験日に向けて、試験勉強に頑張っています。

長谷川 真弓

電車やバスで殆どの方がスマートフォン
を覗いています。私も一時 その族の一部
になっていましたが、原点回帰、この頃は
文庫本を読んでいます。とても目が疲れます。
いや、文字が見えませんが、頑張っています。

和田 利次

東に「生きずらい子供」
あれば行って大丈夫だと励ま
し、西に「次代の教育を問う人」
あれば行って共に希望を語る。
こんな生き方に情熱を燃やし、
世代交替の繋ぎ役に励んで
いる。

三田 一則

「東京理科学研究会・てんとう虫の会」 40年の仲間と旅行して！ 長谷川 眞弓

東京都教育研究所指導主事 故岩内弘昌先生の初等理科研究室で研修したことを契機に、都理科学研究会で構成する「東京理科学研究会」に入会。

11月に遠野に移住した会員のお宅訪問で、遠野旅行に行ってきました。

- ① 遠野の古民家屋「空」わさびご飯——南部曲がり屋(母屋と馬屋がL字形に一体化)生わさび1本を自分で擦り下ろし、かつお節をかけてご飯と一緒に食べる。生わさびの擦りおろしは鼻にツンとこないの、美味しかったです。



- ② 宮沢賢治記念博物館——宮沢賢治の世界観は、アインシュタインの相対性理論・四次元宇宙を科学的な視点・銀河系宇宙観から心象スケッチとしての詩や童話「銀河鉄道の夜」などが生まれたそうです。



- ③ 大谷翔平出身校「花巻東高校」——昭和29年開校。野球場・運動場・3階建の体育館・屋内プール建築中。ドジャースがワールドシリーズ制覇後の訪問。大谷の横断幕の前で記念写真をパチリ。



- ④ 花巻鉛温泉「藤三旅館」に宿泊——開湯600年源泉かけ流し・宮沢賢治も愛した名湯。岩盤を人力で掘って造った深さ1.25m湯船の中央底から自噴する源泉「白猿の湯」は本当にいいお湯でした。

- ⑤ 東日本大震災津波伝承館——津波の事実と教訓を国内外と未来に伝えるメモリアル。3.11の記録映像放映で津波の恐ろしさを実感。展望の丘は目線が津波と同じの高さに設計されています。

- ⑥ 高田松原の一本松・陸前高田ユースホテル・旧道の駅「タビック45」——奇跡の一本松は塩害によって枯死したが、モニタメントとして保存。到達14.5mの津波



の恐ろしさを伝えるべく、人身被害のなかった施設を震災遺構として残しています。

- ⑦ 碁石海岸・穴通磯——碁石八景と呼ばれる景勝地(3つの洞門の穴通磯・海蝕による見事な水道景観の乱隈谷)洞穴に当たる波により雷鳴のような音のする「雷岩」・碁石のような黒い玉砂利の濱「碁石浜」などが展望台から見ることができます。



- ⑧ 遠野友人宅に宿泊——田舎暮らしに憧れて移住した友達の家は暖炉のある家。広い敷地の中に畑や花畑、池や雑木林もあり「草原の家」を彷彿させられる素敵な環境で羨ましく思いました。

- ⑨ 伝承園——「遠野物語」に伝わる民話の世界を体感でき、オシラサマを祀ったオシラ堂・見ると幸せになるザシキワラシの部屋がありました。



- ⑩ カツバ淵——カッパが出てきそううっそうとした小川の淵から水面を眺めながら、ついカッパが出てきたらいいなと思ってしまいました。



- ⑪ とおの物語の館——「遠野物語」の民話を『遠野座』や古民家館内で、語り部の遠野の方言での3つの話を聞きました。心に響く話し方でしたので、方言がわからなくても物語の世界にどっぷり引き込まれてしまいました。



⑫ こども本の森遠野——建築家の安藤忠雄氏が古民家を改築・寄贈。『子どもたちの未来のためには、本・読書が大事ではないか』という安藤氏の想いが館内の木のぬくもりのある造りやおしゃべり・走り回るのもOK。他の図書館ではNGでもここでは思いっきり遊んでもいいよとのゴーサイン！が魅力だそうです。赤ちゃんから大人までが楽しめる場となっています。



海岸の防波堤が高くそびえ立ち、三陸の素敵な海が見えない状況に、この高さの防壁があれば、あの3.11の津波は防げていたのかと改めて想定外の災害の怖さを思い知らされました。

そして、気候変動の変化の影響として今後も人類が未曾有の災害に遭遇していくであろうことを痛感しました。東北に実際に足を運んで災害の爪痕を目の当たりにして感じたことは大きかったです。

てんとう虫の会の旅行が40年以上続けてこられたことに、大変感謝しています。三陸の旅は、地層の専門家がいたことで、北部北上帯(海底の堆積物が大陸にこすり付けられて陸地化・断崖)・南部北上帯(ゴンドワナ大陸の一部・リアス式海岸)などの学習込みのこの旅の後、楽しかったとのご報告を受け、幹事冥利に尽きました。

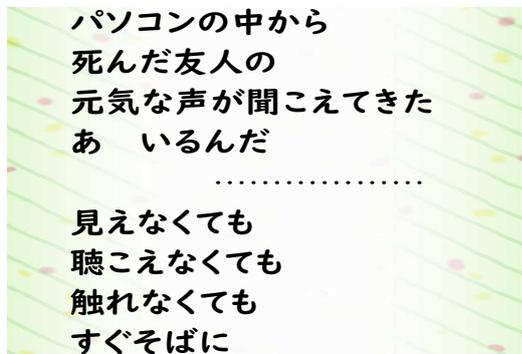
心に残ることば

三田 一則



分断と争いが続く激動の一年を振り返り、心に残ったことばを記憶に留めたい。

○詩人の谷川俊太郎さんが遺した心象。



(谷川俊太郎・詩「あ いるんだ」の一節) 今年亡くなった友人が、ふっと戻ってくる、現実感みたいなものがいつまでも心に残る。

○子育てに悩む保護者のことば。

「担任の先生との向き合い方は特に難しいと感じていましたが、三田一則先生のお話の中で“人間として腹を割って話をする”という言葉が心に沁みました。不登校であることへの引け目から弱気になり、我が子の学校生活や態度などが正確なことが分からない等々担任と話すことはいつも恐縮していました。背中を押していただいたお言葉で前が向けそうです。」(中学校PTA連合会研修会の感想より) ……保護者と担任との壁を超える

「人間として」ということばに、「小さな分断」を超えるヒントがありそうだ。

○小学校5・6年生を前に「君たちはどう生きる——ことばの力を糧にして」という話をした。新しい人間関係や環境の変化の中で生きる子供たちへ贈るメッセージである。

「嬉しいことや困ったこと、⁷¹⁴ 迷うことなど、初めて経験することに対して、『君たちはどう生きるか』と問われるでしょう。そんなとき、心の支えになることばを糧に頑張ってほしいと思います。ことばは言霊、人の魄、心が込められているのです。ことばには、人を笑わせ、楽しませ、考えさせる力、人の心を動かし、生きる元気を与えてくれる力があります。どんな人が、時代や世界の違いを超えてことばの力を支えに生きる知恵を発揮してきたのでしょうか。」と、話を切り出した。



…宮崎駿や吉野源三郎の作品『君たちはどう生きる』、山本有三訳詞『心に太陽を』、宮沢賢治作詞『雨ニモマケズ』等々のことばを引く度に頷き、笑顔を浮かべる子供たちの姿に感動した。時代や年齢を超えて、人の心を揺り動かすことばの力を信じたい。

落ち葉を拾って 気の付いたこと

鈴木 正孝

先日 幼稚園に勤めていた妻に頼まれて、朝近くの公園に落ち葉を拾いに行きました。前日の夜に風があったためか、色とりどりの木の葉が沢山落ちていました。清掃員の方々が、通勤通学の人たちをよけながら、長ぼうきを使ってきれいに道を確保していました。穏やかな小春日和の風景でした。

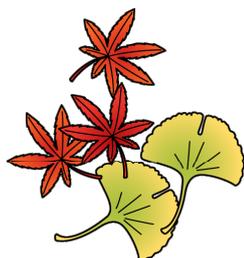


芝生や生垣の中にはいろいろな種類の落ち葉がありました。私はあまり詳しくないのでよくわかりませんが、小櫨・桜・銀杏・桂の葉を見つけました。形が整い、大きさも手ごろで、色鮮やかものを見つけようと思いました。でも、



よく見ると実に多種多様で個性的でした。色は緑の残っているもの、黄色、黄土色、茶色、焦げ茶色、黒に近いもの、薄い桃色、赤茶色、紅色、紫 それも一枚の葉の中にまじりあって輝いていました。形も整ったものはまれで、穴の開いているもの、虫に食われているもの、丸まっているものもありました。大きさは、手のひらくらい大きいものから親指くらいの小さいものもありました。また、濡れているもの、カサカサのものなど状態も様々でした。

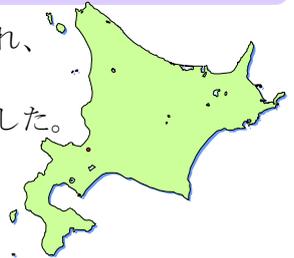
今年は暑い夏が尾を引いて、いつまでも暑い日が続いていました。中には紅葉する前に葉がカサカサになって落ちてしまうこともありましたが、それでも、12月に入って急に冷え込み、木々の色も鮮やかに変わってきました。ちょっとした場面で四季を感じることが出来、嬉しくなります。



昭和30年、4年生 上京の思い出

瀬川 徹

私は北海道帯広に生まれ、丁度戦後から10年。そうです。私は10歳でした。昭和20年の生まれです。



母は三鷹に実家があり、夏休みに楽しみにしていた東京へ！母の実家に1週間いました。楽しく祖父母と連日東京見物でした。

まず浅草、皇居外苑、そして日本橋。歩くと青空が澄み、もちろんまだ高速道路もありません。

そして神田で交通博物館、鉄道模型店へ。以来60年趣味で通っている店との出会いです。



北海道は、8月半ばには2学期が始まります。東京の夏休みは8月いっぱい。9月1日が2学期のスタート。羨ましかったです。

本州青森へは、函館より青函連絡船。4時間の船旅。長い鉄道の旅は、とても楽しく印象に残っています。

紅葉を楽しんで

豊田 美代子

今年の夏は長く暑く、このまま秋が来ないのでは……と不安になるようでした。それでも、ちょっと遠出をすると、秋を感じる事が色々ありました。

10月始めに日光に行く機会がありました。例年は紅葉が始まって綺麗な頃と思っていましたが、殆ど紅葉を観ることが出来ず、唯一、中禅寺湖畔の英国大使館記念公園の木が美しかったです。



10月末に河口湖で、大石公園のコキアが綺麗でしたが、既に盛りは過ぎていました。近くでもみじ祭をしてい



ましたが、もみじはこれからという感じでした。そのまま蓼科に回りました。蓼科は何処も彼処も秋色がしっとりと美しく、朝には雲海も見えて、紅葉とのコントラストが素晴らしかったです。湖面に映った木々も魅力的でした。



車で、この木々の間を走り抜けると、とても清々しい気持ちになります。

11月後半に広島から宮島に旅行に行きました。広島に以前行った時にはゆっくり見学する時間がなく、厳島神社も初めての参拝です。



その後、紅葉谷公園を散策し、宮島ロープウェイで獅子岩展望台まで上がりました。展望台で霧雨に遭い、急いで降りましたが、途中で虹を見ることが出来ました。



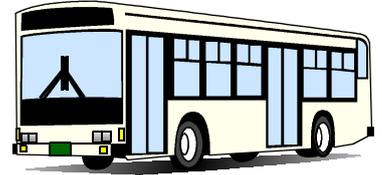
広島市内も見学しました。あいにくの天候でしたが、平日にも関わらず、何処に行っても大勢の観光客がいました。海外の方の多さに驚かされました。原爆死没者慰霊碑（広島平和都市記念碑）に刻まれている「**安らかに眠って下さい 過ちは繰返しませぬから**」という言葉、改めて噛みしめました。



何とか生きています

佐藤 忠三

何とか生きています。特に頑張っていることはありません。家の近くを歩いたり、用事があればバスに乗って出掛けたりして、現状維持に心がけています。これで精一杯です。終活を迫られていますが、これには手が着きません。



88歳になりますが、支部会に出て皆さんとお目にかかり話をする時間が貴重です。

これからも、よろしく願います。

尊厳死か安楽死か

岩谷 榮子



安楽死が法的に認められている国は、世界で39か国。スイスに移動しての安楽死は違法ではない。

日本においても、NHKで、尊厳死か安楽死小島ミナさんの死が報じられたことが新鮮に残っている。これは2019年1

1月に『耐えがたい苦痛・回復の見込みがない・代替医療がない・本人の明確な意思』により姉妹2人に付き添われ、安楽死が認められているスイスを選んで、50歳の命を絶った。呼吸器で息をし、話すことも出来ない、栄養は胃ろうから、定期的におむつを替えてもらうような毎日の生活はしたくない。私が私であるうちに安楽死を望みます。と言って……。

日本では、2024年11月、文芸春秋の調査で70%の割合で安楽死を認めている。しかし、日本では踏み切るのは難しいようである。尊厳死と安楽死が混同しているようだ。

果たしてあなたは……。



支部に直接かかわることはありませんが令和6年末の世界的な話題をここに記します

ノーベル平和賞に 日本被団協 68年間にわたり 草の根運動で核兵器のない世界実現のために努力

2024年のノーベル平和賞は、被爆者の立場から核兵器廃絶を訴えてきた日本被団協 ― 日本原水爆被害者団体協議会が受賞しました。核兵器のない世界を実現するための努力と核兵器が二度と使用されてはならないことを証言によって示してきたことが受賞理由です。



箕牧智之代表委員
「夢の夢、本当にうそみたい」と涙を流して喜びました。



授賞式は、12月10日にノルウェーのオスロ市庁舎で開かれました。

田中熙巳代表委員が受賞演説して、「核抑止論ではなく、核兵器は一発たりとも持つてはいけない」と

呼びかけました。また、2017年の核兵器禁止条約成立に寄与できたことを大きな喜びと表現しました。

これまでも国連や世界各地で写真展を開くなど地道な活動を続け、核兵器の開発や保有などを法的に禁止する核兵器禁止条約の交渉会議では、日本被団協が中心となって署名を集め、採択の後押しをしました。



ノーベル賞委員会のスピーチでも「核兵器が二度と使われてはならないという理由を、身をもって立証してきた」と讃えられました。



帰路の飛行機内では、「皆様、おめでとうございます。生涯をかけて行ってきた貴重な活動に深く感謝し、核兵器も戦争もない平和な世界が一日も早く訪れるよう、心から祈ります」と受賞を祝うアナウンスが流れ、機内は、しばらくの間、乗客たちの温かい拍手に包まれたそうです。



訃報

高橋 敏志先生 享年94歳

長く本支部に尽くしてくださった高橋先生が、令和6年7月11日にお亡くなりになりました。

ご家族様から、「晩年は郵送いただいた資料等を拝読するのを、楽しみにしていました。ありがとうございました。」とのお言葉をいただきました。

心よりご冥福をお祈り申し上げます

令和6年は、元旦の能登半島地震という大災害から始まり、支援物資を運ぶ飛行機事故も起きてしまいました。大水害も様々な地域で発生し悲惨なことが多かった年でした。反面、オリンピック・パラリンピックでは、選手の方々の活躍などで心躍る日々も沢山ありました。本会会員の皆様の周りでも、様々な出来事があったことでしょう。この支部だよりが、その情報交換の一役を担うことが出来たら嬉しいと思っています。令和7年がよい年となりますよう、願っています。(MT)

東京都退職校長会 東京都退職公務員連盟

千代田・中央支部だより

令和7年7月19日 (第28号)

発行者 鈴木 正孝
(東京都退職校長会 千代田・中央支部長)
TEL 03-3639-0460

新入会員を迎えて

千代田・中央支部長 鈴木 正孝



毎日暑い日が続いていますが、お変わりなくお過ごしのことと存じます。

さて、5月17日の本支部総会・懇親会では、大変お世話になりました。来賓の桐谷先生、長谷川先生を囲んで楽しく充実した時間を過ごすことができました。

特に、本年度入会した榎本 孝先生には開会前早くからおいでいただき会場の準備等も積極的にしていただき、大変恐縮しています。素晴らしい会員を迎えることができ、とても嬉しいです。

今年度も皆さんの力でそれぞれの良さを生かしながら『入ってよかった、千代田中央支部』を目指していきたいと思ひます。

令和7年度本支部 総会・懇親会開催

令和7年5月17日(土)、今年度の本支部総会・懇親会を開催致しました。



懇親会次第

司会：副支部長 豊田美代子

- 1 はじめの言葉 岩谷榮子会員
- 2 支部長挨拶 鈴木正孝支部長

ご来賓紹介

- 3 ご来賓のお話
 - 都退職校長会 筆頭相談役 桐谷 澄夫先生
 - 都退職公務員連盟 副会長 長谷川真弓先生

- 4 乾 杯 佐藤忠三会員
- 5 懇 談

ご出席の皆様より一言ずつお言葉を頂きました

* 新会員紹介 榎本 孝会員

- 6 おわりの言葉 和田利次会員



中央区長 山本 泰人様を訪問しました

令和7年5月14日（水）



千代田・中央支部会員は、現役時に中央区で勤務していたか、または住所が中央区の者が多いので、山本泰人中央区長様を訪問することにしました。今回は、岩谷、鈴木、長谷川、和田、豊田の5名で訪問させていただきました。

鈴木支部長からの、中央区の方針や教育に関する話、区長としての中央区への思いなどをうかがえたら有り難い、という言葉を受けて、様々なお話をしてくださいました。

区の人口は、この5月1日では18万8877名と過去最高となり、現在も伸び続けています。タワーマンションの建設が進み人口が増えています。晴海フラッグの入居が始まり、さらにこれからタワー棟の入居が始まります。豊海や月島にも、新しいタワーマンションが造られています。1棟出来ると1000人を超える人口が増えます。現在、区内人口のうち約13000人の方が外国の方、その半分は中国の方が住まわれています。いずれにしても、こうして人口が増えている中で、**多様性を尊重し、共存するコミュニティをどう作っていくかが、第1の課題**と考えています。

新しい区民は、共働きや子育て世代の30代・40代の方が多くなっています。その方々と、日本橋・京橋・銀座などに古くからお住まいの方々と、地域行事や祭等を大切に、**中央区民として理解し合える環境を作れるかどうか、第2の課題**と考えています。

そして若い世代の増加で、子どもの教育や保育など行政ニーズが変化してきていますが、**第3の課題としては、行政サービスのバランスをとること、さらに将来の予測を適切に行う必要があることです。**

中央区の都市基盤についても、様々な計画が予定されています。

2040年に、築地市場跡地の開発が完成する予定です。また日本橋の首都高速の地下化、晴海の地下鉄新線、築地川アメニティ構想など、**2040年をめがけて様々な計画**が進められています。

例えば地下鉄新線では、東京都と連携した計画ですが、駅の位置が決まらないと具体的な計画が立てられません。また、日本橋の上を通る首都高速道路を地下にする計画や、商業施設の上を通っていたKK線を止めて歩道にする計画も、2030～2040年代に全区間の整備を目指しています。区役所前の三吉橋あたりから新橋演舞場近くまで、首都高速の上を緑化する築地川アメニティ構想を目指しています。緑が少ない中央区にとって、この緑化は環境に優しい新しい空間造りになると考えています。

来年、中央区は日本橋区と京橋区が一つになってから**区政80周年**を迎えます。それを契機に、様々な歴史的資源を次代に伝えるシティプロモーションを展開してまいります。例えば日本橋の麒麟の像や著名な人の像、建物など、中央区は歴史の宝庫です。江戸から今日までの歴史を、出来るだけ明らかにして、区として一つ一つを大切にしていこうとも考えています。晴海が整備されたので、かつて実施していた東京湾大華火祭の実施も検討しています。晴海の新しい区民と日本橋や銀座の区民の架け橋になることを期待しています。



まだまだ沢山のお話をしてくださり、私たちの質問にも快く対応してくださりました。若い人が増えたことを生かし区の活性化を図ることや高齢者にとっても暮らしやすい様々な行政サービスなどの説明もしてくださりました。そして私たちに温かい励ましの言葉もいただきました。力強いお話を沢山うかがうことが出来たことへのお礼を支部長から伝え、会を閉じました。（文責：豊田）

健康第一！いつまでも現役を目指し頑張っています。

鈴木 正孝

NHK大河ドラマ『べらぼう 蔦重栄華乃夢噺』で江戸のメディア王として話題沸騰の蔦屋重三郎の勉強会に入って、大伝馬町会主催と常盤小学校校友会『日本橋歴史アーカイブス』の2つに所属しています。中央区の人だけでなく、佐倉市の人とも繋がって楽しいです。

長谷川 眞弓

健康が気になる年齢になりました。職場(江東区ブリッジスクール東大島教室)まで自宅から約7kmの道のりを、晴れた日は自転車を使って通勤しています。また週末には1km泳いでいます。いずれもマイペースで無理なく行っていますが、健康第一を心掛けています。

榎本 孝

みんなの寄せ書き
今回のテーマ

みんなに
伝えたいこと



人は苦しんだだけ、心の痛みがわかり、人に優しくできる。

三田 一則

6月半ばに大伝馬町に引越しました。例のドラマの縁の地だと初めて知りました。

和田 利次

現状維持を目指して、皆さんに会えるのを楽しみに、色々な会に参加しています。よろしくお願いします。

佐藤 忠三

年に一度の『長岡の花火』を、私は自宅のベランダから楽しんでいます。家族だけではもったいないので、時には知り合いも誘って一緒に鑑賞しています。皆さんにぜひ味わってほしいと思っています。よかったら、いらっしゃいませんか。

藤田 雅子

前橋汀子バイオリンコンサートに10名の仲間と一緒にってきました。演奏会に行くことが中々出来なくなり、久しぶりの機会、懐かしい仲間と時を一緒にできるのは嬉しいものです。

前橋さんのエネルギッシュな演奏に感動しました。

岩谷 栄子

今年は5月から暑い日々が続き、学校での教育活動が大変です。教室や体育館で冷房を使用し、熱中症対策に苦慮しています。これがいつまで続くのか、生徒のみならず、教職員の健康管理も重要となっています。

萩原 聡

今年70歳…古希のこの機会に、久しぶりに『第九』に取り組んでいます。またその合唱団も記念の年なので、あわせて『アイーダ』の合唱練習もしています。12月の発表会までに頑張らなければ…と思っています。

豊田 美代子

ウォーキング① べらぼう街歩き～大伝馬町～人形町

令和7年6月10日(火) 担当:長谷川真弓(中央区観光協会特派員)

今年度のNHK大河ドラマ『べらぼう 蔦重栄華乃夢断』江戸のメディア王蔦屋重三郎は、名プロデューサーとして喜多川歌麿・葛飾北斎・東洲斎北斎・山東京伝・曲亭馬琴・十返舎一九を発掘。世界へと日本の浮世絵を発信した人が、大伝馬町に「耕書堂」というお店を開いていたということにロマンを感じます。



銀座線「三越前駅 改札口(三越方面)集合。

参加者は鈴木支部長・豊田・佐藤・岩谷・長谷川・文京支部から荒木先生・新宿支部からは石上先生・居駒先生の参加者8名でした。

熙代勝覧 ※あいにくの雨でコースを回るのに足元が滑るので、見学は時間の都合でカットし、説明だけに留めました。



文化2年(1805年)の江戸日本橋から今川橋までを描いた絵巻。現在の中央通りに連なる問屋街とそれを行き交う人物総計1671人が克明に描かれ、女性は200人。買い物客の外、振売、辻占、読売など路上の商人、六十六部や勧進僧などの僧侶、寺子屋に通う親子など生き活きと描かれている。蔦屋重三郎が亡くなった1797年から8年後の日本橋ですので、蔦重もこのような人々と同じ町人文化が花開いた時代を生きていました。



①『伊場仙』

江戸初期に徳川家康と共に三河から江戸へ。和紙や竹製品・うちわ・扇子を商い、後期には版元となり、歌川豊国を筆頭に、国芳、広重の浮世絵を販売。浮世絵をうちわに貼り付け、江戸うちわを考案。お店に隣接する「まちかど展示館」には伊場仙刻印の浮世絵・版木が展示されています。



②『小津資料館』

「小津和紙」の創業者・清左衛門長弘は伊勢松坂の出身。承応二年(1653年)、江戸大伝馬町に紙商を開業360余年。紙と小津にまつわる小津の歴史を展示。館長さんから、「渋沢栄一が欧米視察から帰国すると、王子製紙を作って印刷技術を優先させたそうですが、小津の手漉き和紙を大切にしてほしいとの栄一書『温故而知新』の言葉が展示されている」ことを教えていただきました。



③『イチマス田源2F耕書堂再現展示』

江戸後期の老舗呉服問屋。田中代表取締役の手作り。耕書堂の小上がりに座って記念写真を撮影できます。来年の1月まで展示の予定。タイムスリップして、蔦重の耕書堂にいるような錯覚を味わいました。

④『蔦屋重三郎『耕書堂跡地』

旧日光街道の通油町・日本橋大伝馬町 13 に案内板が設置。耕書堂の店幅は間口が税金の対象でしたので、小さなお店でした。

⑤『蔦屋重三郎通油町ギャラリーボンマックスビル1F』



来年の1月まで展示の予定。蔦屋重三郎の事がわかるパネル展示・浮世絵をモチーフにしたグッズを販売、無料飲料水休憩所完備・給水無料の自販機が設置してあり、お休み処としてお薦めです。



⑥『元吉原は日本橋富沢町・日本橋人形町2・3丁目』

江戸初期の元和3年(1617)から明暦3年(1657)の40年間、幕府公認遊郭「吉原」を設置。中央を南北に大門通りがあり、当時は、葦が茂る湿地帯で「葦原」と呼ばれていましたが、縁起のいい「吉」を使い、「吉原」に改められました。出入りは大門のみで、東側の浜町川から堀割を引いて四方を囲んだといわれています。浅草新吉原よりも一回り小さかったようです。

⑦昼食『日本橋魚久本店』

京粕漬を炭火でじっくり焼き上げたぎんだら・銀鮭・本さわら定食が有名。「人形町駅」から徒歩3分

中央区日本橋人形町1-1-20 ☎03-3666-3848

※『十思スクエア蔦屋ギャラリー』十思スクエア本館2階(元十思小学校)に行けませんでした。耕書堂版元出版浮世絵と本が展示されています。是非、お時間を作っていらしてください。

7月にいよいよ耕書堂が日本橋に進出します。中央区では、これから蔦屋重三郎フィバーが来ることを願っています。



雨天だったのは残念でしたが、楽しかったと沢山の感想が寄せられました。長谷川先生、お世話になりました。

新 会 員 紹 介

よろしくお願いたします 榎本 孝 会員

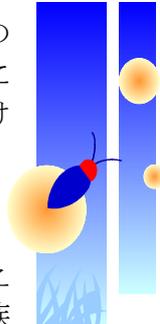


この度、千代田・中央支部に入会させていただきました榎本 孝と申します。江東区立深川小学校で校長職を務め退職いたしました。中央区での奉職経験はありませんが、中央区在住ということで入会させていただくこととなりました。京橋小学校、第一中学校の卒業で母校は統廃合されたり名前が変わったりしましたが、生まれも育ちも中央区です。皆様方のお仲間となり学ばせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

なんとか 生きてきました 佐藤 忠三

特に努力もしなかったけれど、この年まで生きて来られました。88歳になりました。何かを心掛けてきたわけでもなく、重い病気もせず、「なるようになるさ」と生きてきたようです。

しかしその私の周りには、私を支えてくださった友人、知人、親戚、家族が居ることを忘れてはならないと思っています。周りの温かい眼に見守られながら生きています。心から感謝しています。そして、これからもよろしく願います。



おんすいきょう…って？ 豊田 美代子

私は現在「おんすいきょう」…音楽教育推進協議会で活動しています。この協議会は、学校現場で日々ご指導くださっている音楽専科の先生方が、より実践的な学びをして、子どもたちが楽しい音楽活動を展開出来るようサポートすることを目的に、音楽教育研究会OBが集まっているものです。私は関東甲信越地域が担当で、メンバーはそれぞれの都県で音楽教育研究会の会長経験者ばかりです。

今は、8月に実施する前期音楽科特別講座の準備に追われています。ワークショップを8展開と講習者全員が集まる全体講座を実施します。前教科調査官の先生も講師で参加してくださいませ。よい学びが出来る会にするよう、頑張っています。

長岡の花火

藤田 雅子



故郷の長岡に住まいを移して数年経ちます。長岡には自慢の花火があります。毎年8月の2日と3日に、信濃川の広い河川敷で、川に沿って長く夜空を飾ります。

その花火が、我が家のベランダから殆ど見渡すことが出来るのです。この日は、混み合った中で鑑賞しなくてはならない河川敷よりも、ゆったり眺められる我が家のベランダは特等席です。混雑の中、帰宅する必要も無く、毎年楽しい時間を過ごしています。今年も8月が楽しみです。



ここでちょっと『長岡の花火』について

毎年華やかに繰り上げられる「長岡まつり」ですが、その起源は、長岡の歴史に刻み込まれています。

元々、明治時代から長岡には立派な花火があり、信濃川の広い河川敷を飾っていました。でも昭和13年に、戦争により花火大会が中止になりました。昭和20年8月1日、長岡大空襲で町の8割が焦土と化しました。翌年、長岡復活を願い祭を催すことで、互いに励まし合い手を取り合って復興に臨みました。昭和23年、8月1日を慰霊の日として、2日と3日に花火を打ち上げることに決め、以来、コロナの年に中止にした以外、欠かすことなく2日・3日に長岡の復興祈願花火フェニックスは続いています。

終盤に平原綾香さんが歌う「ジュピター」の曲に合わせ打ち上がる花火は、何処にも負けない河川敷に長く続く圧巻の花火です。平原綾香さんは、2004年（平成16年）の新潟県中越大震災の被災者を勇気付けようと、ライブで歌ってくれました。震災後10年経って、改めて祈願花火フェニックスにジュピターは組み込まれたのです。曲が演奏されている間中、音楽に負けない位、花火打ち上げの音が続きます。

娘の命と尊厳に 向き合って

三田 一則

2年4ヶ月間、娘・家族共々たどった癌との闘いを親として振り返りました。

〇3月6日（在宅緩和ケア）

最高気温15℃、河津桜や菜の花が咲き、ほっこりした一日。娘は「地元レストランのステーキをもう一度食べたい」と願っていました。食欲は生命の源泉、叶えてやろうとレストランに招待しました。シェフ自慢のステーキを、喜んで、しかも満足そうに楽しんでくれました。

「私は生きたい」と必死で命を繋ぐ娘に「それでいい」と背中を押しました。

帰り路、脚力が心配で娘の腕を組んだ私に、「パパと腕を組むのは結婚式のバージンロード以来だね」と笑顔で言葉を掛けてくれました。その声がいっまでも耳に残りました。



〇3月26日（在宅緩和ケア・訪問介護）

在宅緩和ケア・訪問看護に入って2日目。二人の訪問看護師は寝たきりの娘をベッドから車椅子へ移動させ、「お天気がいいですよ。外に出てみましょう」と提案。7歳の孫も「ママの足代わりになりたい」と、車椅子押しを始めました。娘は我が子に付き添われて、早速、家の



近くを散歩したのです。ホトケノザが群生する原っぱで記念撮影。16日ぶりに浴びた春の陽の下、娘と孫たちの笑顔がコラボして輝いて見えました。笑顔の力は良薬を超える！

〇5月11日（私から友人へのメール）

ご心配いただきました娘は、4月27日に静かに息を引き取りました。家族で最期まで看取ることができ、何よりの慰めとなりました。娘は最期まで「生きたい」と強く望んでいました。また、闘病中もピアニストとして、癌で同じ苦しみを抱く患者さんの集いに出演し、亡くなる1ヶ月前に自宅でブラームスの『愛のワルツ』を演奏するなど、ピアノ人生を全うしたと思っています。

2年4ヶ月の間、娘の命と尊厳に向き合い親として精一杯サポートできたことが何よりの慰めです。今は、ひたすら娘の冥福を祈る日々です。



〇3月8日（在宅緩和ケア）

娘は激しい腰痛と頭痛に襲われる。心配で医者や看護師と連絡を取り合っていたとき、娘は突然ピアノに向かい、ブラームスの『愛のワルツ』をゆったりと綺麗に弾いたのです。ピアノを愛し続けてやまない魂に驚きと感動を覚えました。これが最期の演奏でした。



〇3月24日（緊急入院時）

娘は「脊髄圧迫症候群」で寝たきりになってしまいました。完成したばかりのコルセットを装着し車椅子姿で娘と面会。身体機能を可能な限り活かし苦痛を和らげようと支援に徹する医療スタッフの存在がとて



も有り難く感じました。患者の辛い思いに寄り添い、勇気づけてくれる心強い伴走者へ、何度も何度も、お礼を伝えて病院を後にしました。



北海道十勝『六花の森』（銘菓六花亭の自然公園林）

卓球を楽しんでいます

鈴木 正孝

老後に趣味をもつことは大切なことと、よく言われます。確かに現役のころに比べて責任感のある仕事も少なくなり、子育ても一段落し、自由な時間がたくさん持てます。その時に自分の好きなことを思う存分できること、得意な分野を伸ばすことには、趣味が一番いいと思います。

では改めて自分の趣味は何かといわれるとあまりはっきりしません。どちらかという仕事に興味のような感じでした。だからと言って、単なる憧れで全然違う世界に飛び込むことできません。そのため、いままでの延長上の事や一人では嫌なので仲間と一緒にやりたいなと思いました。

そこでとりあえず健康第一に考えて体を動かすことから取り組むことにしました。以前はよく河川敷でランニングをして汗を流しました。とても気持ちよかったです。趣味と実益を兼ねていたのです。でも今は無理五メートルも無理です。横断歩道を早足で渡る程度です。

今は昔の仲間と一緒に卓球をやっています。多いときに月に2回程度です。とても混むスポーツ会館なので、1時間ぐらい早く行って順番を取ります。その後、着替えて、いよいよ練習です。



準備体操を少しして球打ちです。この時、特に大切なのはいかにラリーを続けるかです。ラリーを続けるためにはいつも同じ強さで同じところに正確に打ち返す

ことが大切です。それが簡単なようではなかなか難しいです。それができるようになると試合にも勝てるようになると思いますが、まだまだです。試合はダブルスなので相手の組み合わせにより勝ったり負けたりです。真剣に白い球を追っていると多くのことを忘れてしまうように思います。

帰りにみんなでインド料理店に行きますキーマカレー、アボガドカレーで一杯飲みながらナンを食べるのが楽しみです。これからも無理せず仲間と楽しみながら運動を続けていこうと思います。



訃報

瀬川 徹先生 享年80歳

長く本支部に尽くしてくださった瀬川先生が、令和7年6月2日にお亡くなりになりました。

昨年度まで退職公務員連盟支部長を引き受けてくださっており、またお元気になられて支部会議に参加してくださると皆で信じておりました。現役の頃のお話や趣味のお話などを笑顔でして下さっていたことが忘れられません。これまでの支部への貢献に、感謝しております。

心よりご冥福をお祈り申し上げます



令和7年度 本支部役割分担



支部長	鈴木正孝
副支部長	豊田美代子
幹事・相談役	佐藤忠三 岩谷榮子
庶務	豊田美代子 和田利次 榎本孝
研修部	佐藤忠三 三田一則
支部だより	豊田美代子 萩原聡
組織強化	鈴木正孝 長谷川眞弓
福利厚生	佐藤忠三 藤田雅子
会計	豊田美代子
会計監査	佐藤忠三

都に関わる役割

都退職校長会	会計副部長	長谷川眞弓
都退公連	副会長	長谷川眞弓
//	社会貢献部部長	岩谷榮子